

ITE 2022～ポストパンデミック 2 回目となる国際旅行展示会～ コロナ禍の前後にわたり、安全な巨大市場をアピール

香港国際旅行展示会(ITE)は、香港唯一の国際旅行展示会として 30 年以上の歴史を有しています。抗議活動の中で成功を収めた ITE 2019 の後、新型コロナウイルス感染拡大により ITE 2020 が中止を余儀なくされたものの、ITE 2021 は国境封鎖にかかわらず、来場者を業界関係者と一般来場者に分けながら、予定通り 7 月に開催されました。

経済復興のために外国人観光客の受け入れを再開する国が増えるなか、香港とその近隣地域は、旺盛なリベンジ需要を有する安全な巨大市場として注目されており、ITE 2022 への期待の高まりにもつながっています。

渡航制限の先行きは依然として不透明ではありますが、好評を博した ITE 2021 の経験を活かし、ITE 2022 ではオンラインとオンサイトを融合しながら、出展企業と広告掲載企業をサポートしてまいります。

ITE 香港は中華人民共和国文化和旅游部、香港政府観光局、マカオ政府観光局、香港旅行産業協議会、MICE、業界団体などの支援を受けています！

予想を超える反響があった ITE 2021

ポストパンデミック初の開催として、香港以外の出展企業が全体の 60%(103 社)を占めた ITE 2021 では、魅力的なデザインを施した複数の公式パビリオンあり、他のは「グラマラスキャンピング」をテーマにした新しいパビリオンに加え、50 以上のセミナーも企画されるなど、多くの業界関係者や一般来場者で賑わいました。4 日間の開催期間における来場者数は、2 つのホールを合わせて約 3 万人。そのうち、業界関係者限定の 1 日目と 2 日目の来場者数は 2,544 人でした。

一般来場者向けの旅行調査によると、4,514 人の回答者のうち、60%が「来年は旅行支出を維持する／増やす」、80%以上が「安全な旅行に対して支出を増やす」と回答。また、69%が「渡航制限の解除後 6 か月以内に旅行する」と答え、さらにそのうちの 21%が「1 か月以内に旅行する」意向を示しています。

ITE 2021 では、ポストパンデミックにおける旅行のあり方としてグランピング、グリーンツーリズムなどが人気を集めました。また、海外出展企業の数が国内出展企業を上回り、質の良い業界関係者や一般人が多く来場するなど、旅行展示会としてのクオリティは高く保たれています。

なお、コロナ前に開催された ITE 2019 では、5 つのホールに 56 か国・675 社が出展(約 50%がアジア以外)。来場者数については、バイヤー・業界関係者が 1 万 1,613 人(約 30%が中国本土、約 10%がその他アジア地域)、一般来場者が 7 万 3,665 人でした。一般来場者には旅行好きな方が多く、前年の海外旅行日数を調査したところ、13%が「6 日以上」、47%が「3～5 日」と答えた一方で、「旅行をしていない」はわずか 2%でした。

さらなる期待が高まる ITE 2022

8 月末時点の新型コロナウイルス累計感染者数が約 1 万 2,100 人の香港は、安全かつ巨大な観光市場として広く認知されています。2019 年における海外旅行消費額は 269 億米ドルで世界 12 位。旺盛な旅行

ニーズを維持しているとの調査結果も判明するなど、ポストパンデミックにおける観光集客に有望な市場として期待が高まっています。

さらに、広州・深センを含む中国の**粵港澳大湾区(グレーターベイエリア)**も安全かつ巨大な観光市場として知られています。このエリアの2020年におけるGDPは、GDP世界9位のカナダ(1兆6,688億米ドル)に匹敵する1兆6,700億米ドル。ITE 2019においても、業界関係者の約20%が広東省から来場しています。

経済復興のために渡航制限を解除する国が増えるなか、外国人観光客の集客における**香港とグレーターベイエリア**の魅力は、今後もますます高まるでしょう。

渡航制限にも柔軟に対応

各国の渡航制限への対応については、ITE 2021での経験がITE 2022にも活かされています。2021年6月に開催されたウェビナーでは、100人以上の業界関係者を招待し、「オンライン」、「オンサイト」、「オンライン+オンサイト」の3種類の出展形式を供えられました。

本年の展示会では、公式パビリオンの出展企業を含め、香港に十分なスタッフを派遣できない企業は、現地のスタッフやエージェントを手配してブースを管理。魅力的な展示パネル、フォトスポット、映像コーナーを設置したほか、在宅勤務の企業担当者と来場者をつなぐリアルタイムなオンライン相談会も定期的に行われました。

また、スタッフ派遣によるオンサイト対応が難しい広告掲載企業に対しては、広告パネル、フォトスポット、展示棚の設置を代行したほか、セミナーにおいても定期的に映像を配信。さらに、出展の代わりにセミナーを開催する政府観光局もありました。

このほか、講演会場にはFacebookとの同時ライブ配信を可能にする設備も設置。出展企業が交代で利用できるようにしました。来年の展示会では、在宅勤務の企業担当者と来場者をつなぐZoomミーティング向けの共用設備を導入するなど、渡航制限の影響を受ける出展企業に、より柔軟なサポートを提供する予定です。

次のITE2022

ITE 2022(第36回香港国際旅行展示会&第17回MICEトラベル・エキスポ)は、香港コンベンション&エキシビションセンター(ホール1)において、**2022年6月9日(木)~12日(日)**の日程で開催されます。そのうち、前半の2日間は業界関係者向けの業界日、後半の2日間は一般人向けの一般公開日になります。

出展料はITE 2019と同様です。ITE 2022は、香港のコンベンション&エキシビション産業補助金制度(C&E)による助成を受けているため、**2021年12月30日までのお申し込みで20%割引、それ以降のお申し込みで10%割引になります。**

詳細は www.itehk.com (英語・中国語・日本語)を参照するか、TKS エキシビション・サービス Ltd (travel@tkshk.com、Wechat: ite-hongkong、Facebook: itehk、+852-31550600)に問い合わせを。